

平成 29 年度常陸大宮市奨学生募集要項

常陸大宮市教育委員会

常陸大宮市では、優良な生徒でありながら、経済的な理由で修学が困難な方に学資を貸与し有為な人材を育成することを目的として平成 29 年度奨学生を下記により募集します。

以下の要件をすべて満たしている方

- (1) 保護者が常陸大宮市に引き続き 3 年以上住所を有する方（平成 29 年 3 月 31 日現在）
- (2) 下記の学校に入学又は、在学する方
 - ア 高等学校
（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ）
 - イ 高等専門学校
 - ウ 専門学校（専修学校専門課程）
 - エ 大学（短期大学を含む）
- (3) 人物および学業がともに優れている方
- (4) 経済的理由により修学が困難な方
- (5) 他の奨学資金を受けていない方（他の奨学金との併願は可，併用は不可）

2 募集人員，貸与額及び貸与期間

在学する学校		募集人員	貸与額（月額）	貸与期間
高等学校		20 名以内	20,000 円以内	平成 29 年 4 月から在学する学校の正規の修業期間（1 学年以外の学年で貸与を希望する方は，残修業期間とする）
高等専門学校	1～3 年課程		50,000 円以内	
	4 年課程以上			
専門学校（専修学校専門課程）				
大学・短期大学				

3 申請手続

貸与申請者は，常陸大宮市教育委員会教育総務課（常陸大宮市役所本庁 3 階）から申請用紙の交付を受けるか又は，常陸大宮市公式ホームページから様式を印刷してください。

奨学資金貸与申請書に必要事項を記入し，推薦調書については学校に作成を依頼してください。在学証明書以外の書類がそろいましたらお申込みいただけますので，その他の必要関係書類を添付して，教育総務課に提出してください。

4 申請書類

提出書類名	備考
1 奨学資金貸与申請書（様式第1号）	申請者が作成
2 奨学生推薦調書（様式第2号）	直近1年間の成績について，学校に作成を依頼 ※平成29年4月時点で第1学年の方 →卒業した学校に依頼 平成29年4月時点で第2学年以上の方 →在学する学校に依頼
3 住民票謄本（ <u>本籍表示のもの</u> ）	市役所市民課又は，総合支所市民福祉課で発行
4 世帯全員の記載がある所得証明書（平成27年分）	市役所市民課又は，総合支所市民福祉課で発行
5 保護者（父母両方）の平成28年分の確定申告書の写し又は，源泉徴収票の写し	
6 保護者（父母両方）の市税の滞納のない証明書	市役所市民課又は，総合支所市民福祉課で発行
7 在学証明書	4月以降に在学する学校が発行 ※入学後にご提出ください。

※ 在学証明書以外の書類がそろいましたら，お申し込みいただけます。

5 連帯保証人

貸与申請者は，連帯保証人を1人たてる必要があります。連帯保証人は，奨学生本人と同等の返還の責任があり，連帯して奨学資金の返還義務を負うことができる方となります。

6 申請期間

平成29年2月15日（水）から平成29年4月17日（月）まで
[土・日・祝日を除く平日の午前8時30分～午後5時15分]

7 奨学生の決定（予定）

時期	内容
4月下旬～5月上旬	奨学生選考審査会による審査
5月中旬～5月下旬	審査結果の通知
6月	誓約書等書類提出
7月	奨学資金振込

※ 特別奨学金と併願する方は，特別奨学生選考終了後に選考結果を通知する場合がありますので，上記の予定よりも遅れることがありますので，ご了承ください。

8 奨学資金の振込について

奨学生の採用が決定しましたら、誓約書等を提出いただき、学校の種別に応じた奨学資金を年4回（3ヶ月分ずつ）貸与します。初回は、7月上旬頃、4～9月分を振込みます。

期 間	貸 与 月	備 考
4月～6月分	4月	初年度は7月に4～9月分を貸与
7月～9月分	7月	
10月～12月分	10月	
1月～3月分	1月	

9 成績等の報告

毎年、4月末までに奨学生現況届と在籍学校発行の前年度の成績証明書で報告をいただきます。

10 貸与後の届出

転学・休学・復学・退学した場合には届出が必要となりますので、教育総務課まで必ずご連絡ください。

11 奨学資金の返還

- (1) 奨学資金は、奨学資金に係る学校を卒業した月の半年後から、半年賦又は年賦のいずれかにより、10年以内での返還になります（無利子）。退学又は辞退した場合には、その半年後から10年以内が返還期間となります。全額又は一部の繰り上げ返還も可能です。

■返還例（4年間貸与を受けた大学生の場合）

貸与期間 平成29年4月～平成33年3月

貸与総額 2,400,000円（50,000円×12か月×4年間）

●半年賦（返還期間を10年間、返還月を11月、3月とした場合）

一回の返還額は120,000円（2,400,000円÷10÷年2回）

平成33年11月・平成34年3月 各120,000円＝年240,000円×10年間

→返還期間 平成33年11月～平成43年3月

納付回数 20回

●年賦（返還期間を10年間、返還月を3月とした場合）

一回の返還額は240,000円（2,400,000円÷10）

平成34年3月 240,000円＝年240,000円×10年間

→返還期間 平成34年3月～平成43年3月

納付回数 10回

※ 奨学資金の1回の返還額は、半年賦の場合は貸与総額の1/20の額を、年賦の場合は貸与総額の1/10の額を下回らないこと。

(2) 延滞金

返還すべき日までに返還金が返還されなかった場合には、返還する金額に年14.6%の延滞金がかかります。

(3) 返還猶予

進学、疾病その他特別の事由により返還が困難な場合には、必要な届出を行い、相当の期間の返還猶予を受けられる場合があります。

(4) 返還免除

貸与を受けた方が、死亡又は心身障害のため労働能力を喪失した場合は、必要な届出を行い、返還未済額の全部又は一部の返還免除を受けられる場合があります。

1 2 貸与の停止

奨学生が下記のいずれかに該当すると認められたときは、貸与期間中においても、奨学金の貸与が停止となります。

- ・休学したとき
- ・親権者等が市外に転出したとき
- ・傷病などのため成業の見込みがないとき
- ・学業成績又は操行が不良となったとき
- ・貸与を辞退したとき
- ・奨学資金を必要としない理由が生じたとき
- ・その他、奨学生として適当でないと認められるとき

※ 休学したときは、一時的に貸与停止となりますが、復学し、希望する場合は貸与を受けることができます。

1 3 問合せ・提出先

常陸大宮市教育委員会 教育総務課 教育総務グループ

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6

電話 0295-52-1111 (代) 内線349

FAX 0295-53-6502

様式第 1 号（第 2 条関係）

奨学資金貸与申請書

(ふりがな)		男 女		生年月日			
申請者（奨学生）氏名				年 月 日生（ 才）			
入学後 の住所		〒 (Tel)					
		自宅 学生寮 一般貸家 その他（ 親戚宅・知人宅・住込 ）					
通学方法	電車 バス バイク 自転車 徒歩 （片道所要時間 分）						
奨学金貸与 対象学校名	(年度現在 年生)					貸与期間 年 月から 年 月まで （ 年間）	
所在地	〒					貸与月額 円	
家族住所	※ 持家 貸家 借間 社宅 その他（ ） (Tel) 〒						
本 籍							
家族構成 及び 家計内容	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先（学校名）	年収	家計支持
	父						有・無
	母						有・無
	本人						有・無
							有・無
							有・無
							有・無
							有・無
家族の 経済状況							
※事務局 記入欄	※整理番号	※貸与期間	※借用証書提出月日	※決定番号 第 号	※備考		

記入上の注意

- 家計内容欄は家族全員の状況を記入してください。年収は所得控除前の額です。
※源泉徴収票等の写しは家計支持者のみ提出し、農業等の場合は収支内訳も添付のこと。

（裏面につづく）

奨学金希望理由	(具体的に詳細を記入のこと。)					
本人の履歴	入学・卒業等 (※休学・転学・退学・身分の異動等があればもれなく記入のこと)					
	年 月			年 月		
	年 月			年 月		
	年 月			年 月		
月の所要学資	※自宅からの通学者は、(食費等を家庭に入れる者以外) 記入をしない。					
	学資の出所	家庭から.....円	学資の内訳	食費.....円	授業料.....円	
		アルバイト等から.....円		住居費.....円	学校納付金.....円	
		その他から.....円		交通費.....円	その他.....円	
		計.....円		計.....円		
以上のとおり記載に相違ありません。 貴市の奨学生として、奨学資金の貸与を受けたく申請します。 年 月 日 奨学生 印						
奨学生に採用の上、本人に奨学資金を貸与くださるようお願いいたします。なお、本人に対しては、奨学生としての責任を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他義務についても、規定に従い、私も連帯の責任を負うことを誓約します。 年 月 日 常陸大宮市長 様 連帯保証人.....印 連帯保証人の本 籍..... 続柄 奨学生の (.....) 現住所..... 職業..... 生年月日 年 月 日生						

記入上の注意

- 連帯保証人とは、父母兄弟又はこれに代わる者（親権者又は後見人）であり、奨学資金返還の責任を負うものであること。
- <出願の際は連帯保証人1人でよいが、卒業後返還の際借用証書提出のときは、さらに別の保証人 1人を要するのであらかじめ考慮しておくこと。>

記入例

様式第1号（第2条関係）

奨学資金貸与申請書

(ふりがな) おおみや たろう		⑧男 女		生年月日			
申請者（奨学生）氏名 大宮 太郎				平成10年 10月16日生（18才）			
入学後の住所 〒319-2222 東京都豊島区〇〇1-1		(TEL 000-0000-0000)					
自宅 学生寮 一般貸家 その他（親戚宅・知人宅・住込）							
通学方法 ⑨電車 バス バイク 自転車 徒歩 (片道所要時間 30 分)							
奨学金貸与対象学校名 〇〇大学 (29年度現在 1年生)		貸与期間 平成29年 4月から 平成33年 3月まで (4年間)					
所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都新宿区〇〇1-1		貸与月額 50,000円					
家族住所 ※持家 貸家 借間 社宅 その他 () (TEL 000-0000-0000) 〒319-2222 常陸大宮市中富町3135-6							
本 籍							
家族構成 及び 家計内容	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先（学校名）	年収	家計支持
	父	大宮一郎	48	会社員	(株)〇〇商事	3,815,302円	有・無
	母	大宮花子	46	パート	〇〇(株)	1,030,000円	有・無
	本人	大宮太郎	18	学生	〇〇大学		有・無
	妹	大宮 花	14	学生	〇〇中学校		有・無
	祖父	大宮一男	80	無職		750,000円	有・無
	祖母	大宮梅子	79	無職		610,000円	有・無
有・無							
家族の 経済状況		※ 具体的かつ詳細に記入してください。					
※事務局 記入欄		※整理番号	※貸与期間	※借用証書提出月日	※決定番号 第 号	※備考	

記入上の注意

- 家計内容欄は家族全員の状況を記入してください。年収は所得控除前の額です。
- ※源泉徴収票等の写しは家計支持者のみ提出し、農業等の場合は収支内訳も添付のこと。

（裏面につづく）

奨学金希望理由	(具体的に詳細を記入のこと。)			
	※ 本人が具体的かつ詳細に記入してください。			
本人の履歴	入学・卒業等 (※休学・転学・退学・身分の異動等があればもれなく記入のこと)			
	H 2 3 年 4 月 ○○ 中学校 入学		H 2 6 年 3 月 ○○ 中学校 卒業	
	H 2 6 年 4 月 ○○ 高等学校 入学		H 2 9 年 3 月 ○○ 高等学校 卒業	
	H 2 9 年 4 月 ○○ 大学 入学		年 月	
月の所要学資	※自宅からの通学者は、(食費等を家庭に入れる者以外) 記入をしない。			
	学資の出所	家庭から 6 0 , 0 0 0 円 アルバイト等から 3 0 , 0 0 0 円 その他から 円	学資の内訳	食費 2 0 , 0 0 0 円 住居費 6 0 , 0 0 0 円 交通費 1 0 , 0 0 0 円 授業料 5 0 , 0 0 0 円 学校納付金 円 その他 円
	計	9 0 , 0 0 0 円	計	1 4 0 , 0 0 0 円
以上のとおり記載に相違ありません。 貴市の奨学生として、奨学資金の貸与を受けたく申請します。 平成 2 9 年 4 月 5 日 奨学生 大宮 太郎 (印)				
奨学生に採用の上、本人に奨学資金を貸与くださるようお願いいたします。なお、本人に対しては、奨学生としての責任を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他義務についても、規定に従い、私も連帯の責任を負うことを誓約します。 平成 2 9 年 4 月 5 日 常陸大宮市長 様 連帯保証人 大宮 一郎 (印) 連帯保証人の本 籍 常陸大宮市中富町3135-6 続柄 奨学生の (父) 現住所 常陸大宮市中富町3135-6 職業 会社員 生年月日 昭和 4 3 年 5 月 5 日生				

記入上の注意

- 連帯保証人とは、父母兄弟又はこれに代わる者（親権者又は後見人）であり、奨学資金返還の責任を負うものであること。
- ＜出願の際は連帯保証人1人でよいが、卒業後返還の際借用証書提出のときは、さらに別の保証人 1 人を要するのであらかじめ考慮しておくこと。＞

様式第2号（第2条関係）

奨 学 生 推 薦 調 書						成績記入者		印			
学校名						生徒（学生）氏名					
※ 卒業見込・卒業・在学											
成 績 表（教科ごとに各科目の評定の段階別数を記入する。）											
学校名・学年		学校				学校					
		年				年					
評定		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
教科											
合計											
成績概評		※ A （特にすぐれている） B （すぐれている） C （普通） D （劣る） E （特に劣る）					※ A （特にすぐれている） B （すぐれている） C （普通） D （劣る） E （特に劣る）				

（裏面につづく）

記入例

様式第2号（第2条関係）

奨 学 生 推 薦 調 書					成績記入者		〇〇 〇〇 印				
学校名 〇〇高等学校					当てはまる ところに○		姓（学生）氏名 大宮 太郎				
※ 卒業見込 <u>卒業</u> ・在学											
成 績 表（教科ごとに各科目の評定の段階別数を記入する。）											
学校名・学年		学校 3 年					学校 年				
評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
教科											
英語Ⅰ		○									
英語Ⅱ	○										
現代文			○								
古典		○									
数学Ⅲ			○								
数学C			○								
■申請者の方・ご記入いただく先生方へ■ この用紙は、常陸大宮市特別奨学生の申請に伴う提出書類となっておりますので、お手数をお掛けしますがご協力の程よろしくお願い致します。 ご記入にあたり、学校指定の調査書や成績証明書を添付いただいても構いませんが、学校指定の様式に無い部分（「人物概評」のABC評価等）については、書類審査の際に点数化する都合上、お手数ですがご記入をお願い致します。 ※大学等で、個人の人物評価ができない場合でも、推薦者様（学校長）の印を押印のうえご提出をお願いいたします。 ご不明な点等ありましたら、常陸大宮市教育委員会 奨学金担当 （☎ 0295-53-6500直通）までご連絡ください。											
合計	1	2	3								
成績概評	※ A （特にすぐれている） B （すぐれている） C （普通） D （劣る） E （特に劣る）					単位数（○の数） を記入 A （特にすぐれている） B （すぐれている） C （普通） D （劣る） E （特に劣る）					

↑○でお囲みください

（裏面につづく）

特別教育 活動の 記録	ホームルーム活動	生徒会の活動	クラブ活動	校内外における その他の活動
	図書委員(3年次)	特記事項なし	野球部	特記事項なし
当てはまるところに○				
人物概評	※ A…良い B…普通 C…劣る			
その他推薦の参考事項(人物・家庭等の所見)				
【記入例】 心身ともに健康である。吹奏楽部に所属し毎日の練習に励み、3年間熱心に				
取り組んだ。また、学習面でも努力し優秀な成績を修めた。				
表記の者は、人物学術ともに優秀、健康で奨学生として適当と認め、推薦いたします。 平成29年 4月 1日 記入日 学校長 〇〇高等学校 〇〇 〇〇 学校長印 常陸大宮市長 様				

(記載上の注意)

- 成績表には、原則として直近1カ年(大学に在学中の場合は、高等学校の最終成績)の学習成績を記入してください。ただし、既に高等学校に在学中の場合は、中学校の最終成績も併せて記入してください。
- 成績表は学校所定の用紙を使用してもよいが、他の欄をすべて本用紙に記入してください。
※についても○でかこんでください。
- 所定欄に適當の記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがあります。
- この調書の作成及び推薦者は次のとおりとします。
 - 中学校卒業見込者 中学校の校長
 - 高等学校卒業見込者又は在学者 在学する高等学校の校長
 - 大学在学者 出身高等学校の校長